

歴史・伝統・文化を守り、次世代へつなぐ 6つの重点プロジェクト。私は目指します、進めます！

区議会議員4年間の任期中に実現できた公約がある一方で、実現できなかった公約もあります。コロナ禍からの脱却を目指すと共に、地域特有の課題にしっかりと対応しながら、地域の歴史や伝統・文化を大切に守り、次世代へとそのバトンを渡す。6つの重点プロジェクトを中心に、引き続き公約の深度化と実現を目指して参りたいと決意します。

1. 教育・子育て

【自立心と公共心を育む】



◆児童虐待防止施策の拡充と区児童相談所設置に向けた準備加速を◆ボール遊びなど子供たちの公園遊びを見守る屋外型子育てひろばの整備を◆江東区の歴史・伝統・文化に触れる機会の拡充を◆児童数の増加に伴う通学路の安全点検施策の拡充を◆コロナ禍で縮小された伝統・文化活動の活性化を◆小中学校の給食費無償化の具体的検討を◆伴走型子育て支援施策の拡充を◆空き家を利活用した子育て家庭への住宅支援施策の検討を

2. 高齢・福祉・健康

【豊かな経験と知恵を未来へつなげる】



◆国の国民皆歯科健診制度創設を見据えた口腔ケア施策の更なる拡充を◆介護予防・認知症予防施策の拡充と在宅介護支援施策の拡充を◆公園遊びの見守り役にシルバー人材を登用し、世代間交流の促進施策創設を◆介護事業所に対するICT化支援施策の創設を◆移動困難者に対するデマンド交通システム(利用者ニーズに応じた予約型交通システム)構築の検討を◆障害者就労支援体制や医療的ケア児の支援体制の更なる強化を

3. 防災・防犯

【憂う事のない備えで我が町を守る】



◆再生可能エネルギーを用いた被災時エネルギーの分散化の拡充を◆避難所開設・運営や要支援者同行避難、ペット同行避難などを取り入れたより実践的な防災訓練の実施を◆地域の火災危険度に応じた感震ブレイカー設置助成制度の創設を◆民間施設避難所協力協定先の拡大や帰宅困難者対策の拡充を◆老朽建築物の除却・建替えや緊急輸送道路沿道の耐震化の推進を◆自主防犯パトロール組織や災害協力隊、消防団の活動支援施策の拡充を

4. まちづくり

【歴史と伝統ある町の価値を守る】



◆深川資料館通りの無電柱化、歩道の再整備を◆三つ目通り(都市計画道路)の道路拡幅未施工部の早期着工を◆歴史ある地名「深川」冠称の復活を◆地域コミュニティを活用した区道の緑化や花壇づくり(コミュニティガーデン)の推進を◆プレーパークや屋外型子育てひろばなど都市公園の利活用の推進を◆地下鉄8号線(豊洲-住吉間)の延伸事業化に伴う沿線まちづくりの推進を◆実態調査を行った老朽空き家の利活用促進施策の創設を

5. 環境・エネルギー

【持続可能な町を子ども達に残す】



◆街路樹や公園の伐採材・剪定材を活用したバイオマス発電によるエネルギーの地産地消を◆製品プラスチックの分別回収、再商品化によるリサイクル施策の推進を◆水素エネルギーを活用した施策の推進を◆環境学習情報館(えこっくる江東)や水素情報館(東京スイノミル)を活用した環境学習施策の拡充を◆新海面処分場の更なる延命化に向けたごみ削減施策の拡充を◆河川用地を利用した緑化や街路樹整備の推進を

6. 地域社会・地域経済

【コロナ禍からの脱却を】



◆町会・自治会、老人クラブなど各種団体の活動活性化支援施策の創設を◆町会・自治会の担い手確保に対する支援施策の拡充を◆区内商店のポイント還元キャンペーンの更なる拡充を◆コロナ融資の借換融資制度や物価高騰対策融資制度の拡充を◆区内企業のBCP作成支援施策の推進を◆緑地・道路管理委託事業への包括指定管理制度導入の具体的検討を◆入札・契約制度の適正化と工事の平準化の推進、設計変更ガイドラインの策定を

— 総決起大会のお知らせ —

日時: 令和5年3月29日(水)

開会19時(受付18時30分)

場所: 江東区森下文化センター4階

※お問合せは右記事務所までお願い致します。

— 川北直人事務所 —

〒135-0021 東京都江東区白河1-2-1-203

電話/03-5621-6288 FAX/03-5621-6266

E-mail/7010kawakita@gmail.com

HP <https://www.kawakitanaoto.com>

<https://www.facebook.com/naoto.kawakita>



NK TIMES 2023 川北直人

Lib Dems 自由民主党
自民党 江東区議会議員



歴史・伝統・文化を守り、次世代へつなぐ。

- 経済・社会活動を力強く前進させる
- 議会活動4年間の軌跡-総括から始まる次の挑戦-
- 6つの重点プロジェクト。私は目指します、進めます
- 総決起大会のお知らせ

経済・社会活動を

力強く前進させる

新型コロナウイルス感染症、2類から5類へ

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、多くの方々の日常生活や様々な活動は例外なく制約を受けて参りました。その生活も3年目を迎え、感染症との距離感を保ちながら徐々に様々な活動の再開が図られております。政府は今年5月8日に、新型コロナウイルス感染症の感染法上における類型を2類から5類へと変更し、季節性インフルエンザなど同等の位置付けとすることを示すなど、いよいよコロナ禍の出口が見えて参りました。

しかしながら、この3年間に強いられてきた様々な活動自粛の影響は、不安定な国際情勢や物価高騰などの要因も重なり、経済活動や伝統・文化活動、地域のコミュニティ活動など、人々の暮らしに未だ多くの影を落とし続けております。

こうした状況の中、今夏は富岡八幡宮例大祭、神輿連合渡御の挙行が予定されるなど、いよいよ本格的にかつての日常を取り戻す機運が高まっております。

これからの江東区政に求められることは、コロナ禍で傷ついた経済・社会活動を力強く前進させることに他なりません。私は、地域経済、地域コミュニティ、学校教育など、様々な活動の活性化や、区民の健康づくりの推進、防災・減災対策を含む地域のまちづくりの推進、大胆な環境施策の構築を目指し、今後も全力を尽くす決意です。

— 川北直人プロフィール —



○昭和49年江東区白河生まれ、48歳○元加賀小、深川六中、東海大付属浦安高、東海大工学部卒○平成15年、27年、31年(令和元年)区議会当選、現在3期○区議会/企画総務委員長、医療・介護・高齢者支援特別委員会委員○区議会自民党幹事長、議会運営委員長、議員選出監査委員などを歴任○区立深川第六中学校同窓会会長○深川消防団第四分団団長○趣味は野球・ゴルフ・バレーボール

議会活動4年間の軌跡 — 総括から始まる次の挑戦 —

私は、平成31年(令和元年)4月の区議選時に【教育・子育て】【高齢・福祉】【防災・防犯】【まちづくり】【東京オリンピック・パラリンピック競技大会】について、それぞれの基本方針を公約に掲げ、有権者から区議会議員として4年間の任期を託されました。まもなく任期満了(令和5年4月30日)を迎えることから、本会議や予算審査・決算審査特別委員会、各常任・特別委員会での質疑を通じた任期4年間の公約に対する取り組みについて、総括してご報告致します。**また、各公約を取り上げた議会質疑動画のQRコードを掲載しましたので、併せてご覧下さい。**

【教育・子育て】 ～自立心と公共心を育む～

公約① 児童数の増加に伴う通学路の安全確保を！

清澄・白河地区では、大規模マンションの整備によりファミリー世帯が増加することで、地元小学校の児童数も増加しており、通学路となる歩道の狭あい化が進んでおります。そこで、歩道の拡幅や通行車両の速度制限強化、信号機の設置を提案し、学区内のゾーン30(30km/h速度制限)や清洲橋通りの新規信号機の設置などが実現しました。

公約② 児童虐待防止の更なる拡充を！

平成28年5月の児童福祉法改正により特別区にも児童相談所を設置できることとなりました。江東区においても区児相の設置に向けて準備が進められておりますが、人材確保が大きな課題の一つとなっております。そこで、児相開設に向けた人材確保策として、子ども家庭支援センター受託法人の職員など、有資格者を会計年度任用職員採用するなど、区独自の人材確保策を提案しました。

公約③ 歴史・伝統・文化に触れる機会の拡充を！

コロナ禍により、教育現場においては様々な活動が廃止または縮小されております。特に、子どもたちにとって大きな思い出となる宿泊行事や地域の方々と共に引き継がれてきた和太鼓などの伝統文化活動が開催あるいは継続できない状況にあります。コロナ感染症との距離感を保つ工夫を凝らしながら、諸活動の活性化を目指すよう要望しました。

【高齢・福祉】 ～豊かな経験と知恵を未来へつなげる～

公約① 介護予防施策の拡充を！

2022年9月総務省発表の高齢者人口は3,627万人、高齢者人口率は29.1%となりました。そのうち5人に1人が認知症を患う、との推計もあり、更に認知症予備軍とも言える軽度認知障害(MCI)は400万人が該当する、と言われます。介護予防事業を充実させ、認知症の早期発見、適切な治療へとつなげる取り組みを提案し、令和4年度より『もの忘れ予防検診事業』として実現しました。

公約② 介護事業所の経営支援策の創設を！

新型インフルエンザ等特措法に基づき、都から感染リスクが高いとされる施設の使用制限が要請されましたが、介護施設などコロナ禍においても閉鎖することができなかった施設等に対し、人材確保や感染症対策備品の購入費など、事業継続に要する補助金を交付するよう提案し、実現いたしました。

【まちづくり】 ～歴史と伝統ある町の価値を次世代に引継ぐ～

公約① 歴史ある地名「深川」冠称の復活を！

今期の目玉公約として掲げた「深川」冠称の復活について、任期中に地域住民による勉強会などの発足を通じてその機運を高めていく予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による緊急事態宣言の発令や様々な活動自粛により、その機会を逸することとなりました。今年は、ご鎮座400年まであと4年に迫った富岡八幡宮の例大祭、神輿連合渡御の開催が予定されていることから、再度「深川」冠称復活の機運を高める活動に取り組みたいと考えます。

公約② 公共施設の緑化や花壇づくり、街路樹の拡充を！

「みどりの基本計画」に基づき、緑被率や都市公園の整備量など目標値を定めて計画的に緑化を進めております。特に区内でも緑被率の低い深川北部地区において、空地となっている小名木川沿いの河川用地を用いた緑化の推進や、区道沿いの緑地帯を用いた地域住民による花壇づくりの取り組みなどを提案しました。今期では、小名木川沿いの清澄地区内の緑地整備と、三好地区内の区道沿いにおいて地域住民によるコミュニティガーデン作りが実現する運びとなりました。

公約③ 観光地化した清澄白河地区における歩道の再整備や生活環境の保全を！

今や「観光地化した」と表現できるほど、来訪者や飲食店等の出店が増加の一途をたどる清澄白河地区内では、それに伴いハード・ソフト両面で課題が生じております。ハード面では、来訪者の多くが通行する深川資料館通りの歩道再整備や無電柱化、マンション開発に伴って人口が増加した三つ目通り沿いの都市計画道路の整備による歩道の再整備について、それぞれ提案しました。ソフト面では、飲食店等の出店事業者と地域住民との関係性構築について、区として促す取り組みを行うよう提案しました。

【防災・防犯】 ～憂う事のない備えて我が町を守る～

公約① 被災時エネルギーの分散化、拡充を！

かねてより被災時に避難所等で使用するエネルギーの分散化と拡充の必要性を提案しております。江東区では拠点避難所となる区立小・中学校に外部電源を接続できるよう接続盤の設置工事と可搬式発電機の導入を進めておりますが、この可搬式発電機については、軽油によるディーゼル発電機となっております。既に設置されている発電機がガソリン使用であるため、ディーゼル発電機の導入によりエネルギーの分散化が図られます。一方で、各種発電機メーカーからLPガスを併用できるハイブリッド型なども開発・運用されていることから、更にエネルギーの分散化への取り組みを要望しております。また、水素エネルギーを使用した大型バスから避難所へ電力供給する仕組みなど、再生可能エネルギーを用いた被災時エネルギーの分散化や拡充を提案して参ります。

公約② 避難場所整備の拡充と避難所の開設やペット同行避難の訓練実施を！

約20年前に廃校となった白河小学校の旧学区域では、廃校に合わせて拠点避難所が明治小学校に統合されたことにより、地域住民にとっては拠点避難所が遠方となりました。この間、高齢者の方々を中心に多くの地域住民から、より身近な避難所整備について要望を頂いております。数年前より、旧白河小学校区域内の私立学校所有者と江東区が締結している避難所提供に係る防災協定をより具現化するよう、協議を重ねて参りました。この度、令和5年度初頭には区域内の一つの私立学校と締結する防災協定の見直しが行われる運びとなり、地域住民の避難場所として提供される学校スペースについて具体化される予定です。

また、区政史上初となる避難勧告が発令された令和元年台風19号襲来時では、避難所の開設やペット同行避難者の受入れにおいて混乱が生じたことを踏まえ、避難所開設訓練やペット同行避難訓練の実施を提案しました。令和4年度からペット同行避難訓練が、区内獣医師会の先生方のご協力のもとで、実施されました。避難所開設訓練の実施についても、引き続き要望して参ります。

公約③ 災害情報(河川の増水など)を早期に伝達する方法の確立を！

令和元年台風19号以降、江東5区(江東・墨田・荒川・江戸川・葛飾)では広域避難推進協議会が発足され、水害の発生が危ぶまれる際の高台地域への広域避難のあり方が検討されております。しかし、避難者受入れが想定される自治体との調整や広域避難を呼びかける際の公共交通機関等の計画運休実施とのタイミングの問題など、広域避難にはまだ課題が多く残されます。そこで、区民自らが大型台風と高潮が併発した際、河川の水位情報から増水等の水害発生を予測できる方法を確立するよう提案しました。荒川上流の岩淵水門や南砂地区の荒川の水位、東京湾の潮位などをきめ細かく区民へ伝達する仕組みが確立されました。

【東京オリンピック・パラリンピック競技大会】～大会後を見据えて～

公約① 地下鉄8号線(豊洲・住吉間)の延伸事業化を！

令和4年3月に、事業主体となる東京メトロが鉄道事業許可を国土交通大臣より受け、同年8月の都市計画素案説明会に加えて環境影響評価手続きが開始されております。区として、地下鉄8号線延伸の建設費用に対する費用負担を行う考え方や、地下鉄8号線建設基金を活用することについて、提案しました。延伸事業に伴い整備される2つの中間新駅((仮称)千石駅、(仮称)枝川駅)の整備費に対して94億円を本区が負担し、本事業に積極的に参画することとなりました。

公約② 障害者スポーツの普及促進・機会拡充を！

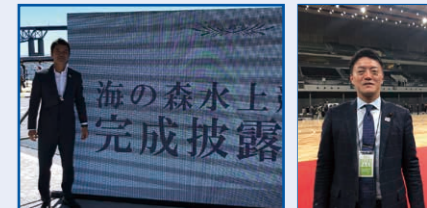
現在、スポーツセンターに配備されているトレーニングマシンは健常者用のものだけであることから、車いす利用できる専用マシンの導入と専門インストラクターの配置を提案しました。また、スポーツ利用が認められていない文化センターにおいて、車いす利用者によるポッチャなどの施設利用を認めるよう提案し実現しました。障害者スポーツの機会拡充や社会参加の促進に向け、引き続き提案して参ります。

公約③ 小学生ポッチャ大会の開催を！

区内小・中学生による東京オリンピック・パラリンピック競技大会の観戦が中止となったことから、代替施策として、区内の東京五輪競技会場を使用したポッチャのトーナメント大会の開催を提案しました。令和5年1月に、区内小学生による第1回KOTOポッチャフレンドリーマッチが有明アリーナにて開催されました。感染症対策の観点から地域ごとの予選会は中止となりましたが、今後は特別支援学校の生徒と区内小学生の交流戦を行うことなどを提案して参ります。

写真で見る4年間の軌跡

東京五輪競技会場完成披露



ワクチン接種模擬訓練を視察



幹事長として山崎区長に予算要望



地域の交通安全対策を強化



ペット同行防災訓練や防災倉庫見学会



認知症・介護予防活動を体験



五輪会場で小学生ポッチャ大会が実現

